

る」と指摘。「夢洲という負の遺産を、反転攻勢をかけて起爆剤にする。懸念材料もあると思うが、府市で対策を講じる体制をつくる」として、関西財界側に協力を求めました。

「IRは基本的に賛成」とした森氏は、「どうしてもカジノが表に出るので、大阪にふさわしいIRとは何かを議論させていただきたい。せっかく(誘致に)取り組むのだから、多くの府民・市民に歓迎されるものをつくりたい」としました。

加藤氏は「IRを含めて関空とのアクセス、インフラができないと駄目。(関西経済同友会として)何か提案したい」と発言。松井知事は「なにわ筋線」建設推進へ議論を始めていると報告、「関空から夢洲、舞洲へは海上輸送も考えられる。経済界からもお知恵をいただきたい」などと話を合わせた。

誘致ノカジノ 推進へ足並み揃えて

関西財界に橋下氏が注文

「経済界は足並みを揃えてほしい」——橋下徹大阪市長が、カジノ誘致問題で関西財界のトップに注文をつけました。3日開かれた府市と関西財界3首脳との意見交換会でのこと。写真。関西経済同友会が舞洲へのIR誘致に向けた提言を出す

一方、関西財界の中ではギャンブル依存症への懸念など慎重論も依然ある中で、関西財界挙げての協力を求めた形です。意見交換会は、東京オリンピックが開かれる2020年に向け、大阪の観光振興や集客戦略をテーマに行われたもの。橋

下氏のほか、松井一郎知事、関西経済連合会の森詳介会長、大阪商工会議所の佐藤茂雄会頭、関西経済同友会の加藤貞男代表幹事が出席しました。橋下氏はカジノ合法化法案が秋にも成立するという予測の下に、府市一



体で誘致推進に取り組んでいるとした上で、「経済界の足並みがそろっていないように感じられ